

【平成14年度第4四半期(平成15年1~3月)の3ヶ月予報】

この度、中央水産研究所、関係各県水産試験場との予報会議で長期漁海況予報が審議されました。この予報に本県の地域性を加え、次のような予報を作成しましたので、参考にしてください。

【海況】

平成14年度第4四半期の見通し

1.黒潮の流路

黒潮北縁域(佐多岬~笠利埼間)は、屋久島の南付近での変動で推移するでしょう。

(根拠)

黒潮北縁域の変動は、過去の変動傾向から予測を行いました。近年では、1月~3月は屋久島の南付近で変動する傾向にあります。

2.本県海域の水温

表面水温は、黒潮流域、県本土沿岸域及び奄美海域では“ 平年並み ” ~ “ 高め ”で推移するでしょう。

(根拠)

- (1) 黒潮流域は、過去の変動傾向及び現在の海況から予測しました。
- (2) 県本土沿岸域及び奄美海域は、鹿児島地方气象台12月発表の「九州南部地方3ヶ月予報」、過去の変動傾向及び現在の海況から予測しました。

平成14年度第3四半期の海況概況

1.黒潮北縁域の経過

黒潮北縁域(佐多岬~笠利埼間)は、10月は上旬から下旬にかけて中之島の南(離岸)から竹島の北(接岸)まで徐々に北上しました。11月・12月は、概ね離岸傾向(屋久島の南での変動)で推移しましたが、12月上下旬には竹島の南まで接岸しました。

2.本県海域の水温

『全海域で、11月は低め傾向、12月は高め傾向で推移しました。』

(1) 黒潮流域(黒潮流域の最高値)

10月・11月は、“平年並み”で推移しました。12月は、“やや高め”~“かなり高め”でした。

(2) 薩南沿岸域(代表点:竹島)

10月・11月は、概ね低め傾向で経過し、特に11月中旬は、“著しく低め”で推移しました。12月上中旬は、“やや高め”，下旬は“平年並み”でした。

(3) 西薩沿岸域(代表点:甌海峡中央)

10月上中旬は、“やや高め”でしたが、11月上中旬は、“やや低め”に変動しました。12月中旬は、“やや高め”，下旬は“かなり高め”でした。

(4) 奄美海域(代表点:与路島)

10月は、“平年並み”でしたが、11月~12月上旬は、“やや低め”で推移しました。12月中下旬は、“平年並み”~“やや高め”でした。

(5) 鹿児島湾(代表点:谷山沖)

10月は、“平年並み”でしたが、11月は、“やや低め”~“かなり低め”で推移しました。12月は、“平年並み”でした。

<参考>

鹿児島大学水産学部 海洋資源環境教育研究センター(南星丸)による鹿児島湾内の水温観測は、以下のようになりました。

(1) 鹿児島湾奥

12月25日の観測では、水深10mは18.4でした。

(2) 鹿児島湾口

12月26日の観測では、水深10mは20.5でした。